

重点施策6 充実した人生を送るための生涯学習の振興

【施策方針】

八幡浜市教育委員会教育基本方針に基づき、生涯学習の観点に立ち生涯学習推進体制の整備に努め、市民の自発的な学習意欲の高揚と多様化・高度化する学習要求に対応する。

また、生涯をとおして充実した学習活動を展開できるよう必要に応じて学習の機会・学習の場を提供するとともに、支援・協力する。

【実施状況】

(1) 連合婦人会、連合青年団等団体の育成

① 連合婦人会

- 高齢化社会を迎え、女性の学習への在り方を考え、地位の向上に努めた。
- 青少年の健全育成を図るため、明るい家庭、社会づくりと環境の浄化に努めた。
- 各種団体との連携を密にし、女性のふれあいの場、活動の輪を広げるように努めた。

(具体的内容)

4月22日・23日のやわたはま国際MTBレースで、うどん作りに、1月には、市民健康マラソンで、ぜんざい作りに参加した。

6月には会員研修として、国体のデモンストレーション競技になっているカローリングを、3月には砥部の梅祭り見学で会員の交流を図った。

② 連合青年団

- 公民館及び各種団体との連携を図り、地域の活性化に努めた。
- スポーツ活動・ボランティア活動等を通じて、団員の団結力を強めるとともに、青年団及び地域における指導者を養成する。

(具体的内容)

各地区の公民館まつりや盆踊り等に参加した。

平成29年度は、やわたはま国際MTBレース、国体、シクロクロス大会へボランティアスタッフとして参加した。また7月と2月に球技大会を開催するなど、団員の交流を図った。

③ P T A 連合会

- 会員の質的な充実を図るため、P T A研修活動(講演会の実施)の充実に努めた。
- 地域の良さを生かしたP T A活動の推進に努めた。
- 教育諸条件の整備充実に努めた。

(具体的内容)

5月にP T A大学の開校式を行った。年4回実施し、57人の受講者があった。7月は、役員合同研修会を行い、124名の参加を得て、「意志力～志あるところに道ありき～」と題した山本隆弘氏による講演を拝聴した。8月は、ソフトバレーボール大会を実施した。

260名が参加し、会員の交流を図った。11月には第63回愛媛県PTA大会西予大会に参加した。また、1月には八幡浜市PTA研究大会を開催し、243名の参加があった。研究大会では、「愛の手で未来を築くPTA」をテーマに、かえがけえのない子どもに寄り添いながら、子どもの自立に向けて夢や希望を育み続ける親の姿について考え、相互の理解と交流を深めた。特に、「ダウン症の娘と共に生きて」と題した金澤泰子氏の講演は感動を呼んだ。

(2) 家庭教育推進事業の実施

平成19年度から県の指導により立ち上げた「八幡浜市家庭教育推進協議会」も平成22年度をもって解散となり、平成23年度からはメンバー各自がボランティアとして活動していくことになった。

平成25年度からは、「愛媛県学校・家庭・地域連携推進事業」の補助を受け、子育てボランティア団体による家庭教育支援活動として家庭教育に関する子育て講座を市内の小学校、保育所を中心に11か所において開催したが、後継者不足などにより29年度末をもって休止となった。

(3) 生涯学習支援ネットワークの充実

「浜っ子人材銀行」と「浜っ子サークル銀行」の発行（隔年更新）をしており、地区公民館をはじめ関係機関への配布を行うとともに、「八幡浜市子どもセンター」のホームページにも掲載し広く市民に周知するなど、学習活動の支援を行った。

【事務事業点検評価委員意見】

- 生涯学習の推進・充実を図ることは、市民の生きる喜びや活力につながり、多様化する社会の中で継続していかなければならないと思う。
- 少子高齢化や組織離れが進む中、婦人会、青年団のボランティア活動には感心している。今後は遊び的要素も取り入れた、皆が気楽に参加できる活動を通じ、地域の活性化や団体の団結力を強めていただきたい。
- PTA活動については、研修活動、会員相互の交流等良い活動ができていると思う。今後も青少年センターとの連携をスムーズにいただき、会員の更なる資質向上に努めていただきたい。
- 家庭教育推進事業が後継者不足などで休止になったことは誠に残念である。他部署との連携を含め再考してほしい。
- 「浜っ子人材銀行」等は、もっと広く市民に周知していただき、ネットワークが図れるようをお願いしたい。

【自己評価】

- 多様化、高度化する社会の中で、中央公民館を社会教育の拠点とし、利用者の自発的な学習意欲の高揚と多様化に対応する学習の場であるよう努め、今後更に高度化するであろう要望に応えると共に利用者の利便性を図っていききたい。
- 若者に限らずあらゆる世代で集団から個での活動を好む人が増えている中で、婦人会や青年団の活動を継続して行くことは年々難しくなっているが、集団ならではの楽しさが再認識できるような活動なども取り入れていききたい。
- P T A活動においては、「愛の手で未来を築く P T A」～愛顔(えがお)あふれる子どもたちとともに～を活動方針として、児童生徒の健全育成、会員の意識と連帯感の向上、人権教育の充実、読書活動の推進等に取り組んできた。特に、自らの子育てについて見直す研修活動の機会とした2回の講演会の実施は効果的であった。今後も相互の連携や研修活動の充実に取り組んでいききたい。なお、市 P T A 連合会事務局として、市 P T A 連合会本部役員の意向や単位 P T A の意見を十分に生かした連携及び運営に一層努めていききたい。
- 家庭教育の推進については、行政の子育て支援部局や関係機関とも連携協力し、指導者の育成を急務の課題として取り組んでいききたい。
- 浜っ子人材・サークル銀行に関しては、事務局を仲介せず利用者と登録者が直接やり取りを行っているため詳細な利用状況は把握できていないが、今後も引き続き地区公民館と連携するとともにインターネットなども活用し広く市民に周知していききたい。